



	を報告します。なお、本日の傍聴者が1名となっています。
【3. 会長・副会長 選任】 事務局	<p>次に3会長、副会長の選任に入ります。</p> <p>今回は、審議会委員の改選期となっております。</p> <p>鶴岡市環境審議会条例第5条第1項により、審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定めるとされております。</p> <p>委員の皆様のご意見を求めます。</p> <p>皆さん、ご意見が無いようですので事務局案を提案させていただきます。</p> <p>これまでの会長副会長につきましては、学識経験者として山形大学と鶴岡工業高等専門学校からお引き受けいただいております。</p> <p>事務局といたしましては、引き続き、会長を俵谷先生から、副会長を佐藤司先生にお願いしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。</p> <p>(全員承認)どうもありがとうございます。</p> <p>それでは、会長、副会長、よろしくお願いします。</p> <p>ここで、俵谷会長から、前の席の方に移っていただきまして、ご挨拶をいただきたいと存じます。</p>
俵谷圭太郎会長挨拶 佐藤司副会長挨拶	<p>ただいま会長に選出されました。2年間どうぞよろしくお願いします。</p> <p>会長をはじめ会議の進行に努めますのでよろしくお願いします。</p>
【4. 議事】	
(1) 令和4年度事業 概要	<p>これより、「3. 議事」に入ります。</p> <p>ここからは、審議会条例第6条第1項の規定によりまして、会議の議長をつとめさせていただきます。</p> <p>それでは議事に入ります。</p>
事務局	<p>「(1) 令和4年度事業概要」について事務局説明をお願いいたします。</p> <p>説明(内容は、資料のとおり)</p>
会長	<p>ただ今の説明についてご質問がございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>6ページの下酸性雪調査結果の昨年度が改善している理由が分かれば、ご提示願いたいと思います。</p>
事務局	<p>市で分析はしておりませんが、関係機関に確認しながら、今後もこの改善が続くようであれば、なぜこういう傾向にあるのかを調べてまいりたいと考えております。</p>
委員	<p>2ページの地域エネルギービジョン推進における再生エネルギー設備の補助金ですが、例えば太陽光発電設備の耐用年数が大体10年と言われておりま</p>

	<p>す。その廃棄物に対する処理費用っていうのはここに含めてありますか。</p>
事務局	<p>廃棄物の処理費用につきましては、今のところ補助の内容には入っていない状況になります。</p> <p>補助を始めてから10年くらいなので、まだ廃棄は発生していないという状況です。また、今、いろんな技術により再生し使用も進んでございますので、そういう社会的な情勢も含めて、今後考えていくものになると思っております。</p>
委員	<p>13ページのKPIのご説明資料、循環型社会の構築での(2)はごみ焼却施設でのプラスチック等の年間焼却量ですが、基本的にはプラスチックごみというのは分別して出しているはずですが。</p> <p>焼却ごみの中にプラスチックが1割ぐらい混入してあるということはその1割がR4実績の4,298トンという推計値、そういうような解釈でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>こちらのプラスチックごみの混入につきましては、定期的にごみの成分調査を行った結果による推計値となっております、ご発言のとおりです。</p> <p>なお、プラスチックごみは、通常皆さんが分別しているとピンクの袋に入れられるものはプラマークがついているものということであり同じプラスチックであってもポリバケツなどは燃やすごみとなっております。</p> <p>そういうようなものは今までは燃やすものということで作ってございましたけれども、今、国においてプラマークが付いている物以外も分別していくというような動きもありますので、今後そういうことも考えていく必要があると考えております。</p>
委員	<p>15ページの空き家問題ですが、空き家は年々多くなっている。私は山の方に住んでおりますが、だんだん壊れ始めてきています。やっぱり予算的な部分があるのだらうと思います。</p> <p>現在、代執行等により市の方で代わりに措置をしたものもあるかと思えますし、市内全体から見ればこの程度の空き家の数ではないと思えます。</p> <p>その事実認識が大事だと考えます。</p> <p>全部の危険な部分があって、手をつけられない部分もあると思いますが、申し上げていただける範囲で構いませんので、市の見解についてよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>制度的には空き家特措法という法律の中で、代執行という手法があります。しかしながら、民法上保障されている個人等の財産を行政で壊すことは、非常に程度の悪い空き家であっても難しいものとなっております。</p>

	<p>本市の代執行の例としては、旧ホテル雷屋の1件となっております。山形県沖地震後に建物を確認したところ、壁の爆裂現状など、外壁が剥がれるなどの危険な状態であり、代執行させていただいたものです。</p> <p>また、本市の条例上で実施できる応急措置につきましては、空き家の開口部分をベニヤで塞いだりとか、崩れかかっているものについては、引き直しということをさせていただいております。</p> <p>それから、危険な空き家の数の把握についてであります。5年をサイクルにして、市内の空き家の一斉調査を実施しております。</p> <p>直近の令和2年調査では3,562件ということになっております。</p> <p>年々数は増えてきておりますけれども、調査をする際に、一番軽いものはそのまま住めるか小規模の修繕で進めるようなAランクのものから、もう住めなくて壊すしかないものはDランクに分けています。全体的な割合としては、Dランクの空き家は、少し改善をしている。ただ、全体的な件数は増えているものですから、戸数は増えている状況となっております。</p>
<p>(2) 令和5年度事業概要</p>	<p>会長 「(2) 令和5年度事業概要」について事務局説明をお願いします。</p> <p>事務局 説明（内容は、資料のとおり）</p> <p>会長 ただ今の説明についてご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。</p> <p>委員 環境保全推進員と廃棄物減量等推進員として一本化し、環境保全推進委員として市の支出があるようですが、その活動としては、ごみの減量やごみステーションの監視等をするということと考えていいですか。また、活動内容については、前任者からの引き継ぎだと思いますが、後任が何をやるかということをはっきり明示していただいた方がいいと思います。</p> <p>事務局 実際にしていただく内容といたしましては、ゴミステーションの見回り、それから地域の中での環境問題ということについてお願いをさせていただいております。お気づきになられた点を市の方に繋いでいただく。特に、ごみステーションにつきましては、廃棄物対策課にごみステーションを回る職員がいますので、そこと連携をとりながら、正しいごみの出し方について、いろいろとご協力をいただいているところです。</p> <p>また、活動内容につきましては、毎年7月に推進員の研修会をしておりますので、その場での説明の仕方等含めて、廃棄物対策課と環境課で連携しながら実施したいと思います。</p>

委員	<p>私は、観光の方でふうどガイドの委員となっておりますが、その中でもサステイナブルツーリズムとか、環境に配慮した旅行が増えています。</p> <p>ふうどガイドは、いろんな食文化を伝えるなかで、鶴岡市は豊かな自然のもと、一次産業が盛んな地域でありますことから、環境対策とかそういった面とも旅行商品にしたりしています。今回の事業内容が市民啓発みたいなどころの KPI が多いかなと思うのですが、実際に市外から来て、本市の環境（の取組み）とか、そういったものを学ぶとか視察に来る方もすごく増えておまして、そういった注目を浴びているような鶴岡市であるので、そういったところを、数字に出せたらいいのかなと思いました。</p>
事務局	<p>「ほとりあ」にも修学旅行で来られたりしておりますので、観光物産課等とも連携しながら、外からの関係人口を増やすということも市全体で考えれば当然必要なこととなりますので関係課と相談してまいります。</p> <p>なお、KPI の追加については、今すぐここで結論出せないものですから、ご意見として承らせていただければと思います。</p>
委員	<p>中山間地や最近では市内の中でも、クマなどのいろんな動物に関して昔では考えられないような事案が発生している状況だと認識しています。</p> <p>有害鳥獣、有害な部分ですね、その部分についてももう少し考えていかないといけないのではないかとというふうに私個人的には思っております。</p> <p>実際、農作物の被害はかなり深刻化していますし、そういう時にお客様が来るということはやっぱり残念な結果になってしまう恐れもあるということ。その辺を考慮に入れた計画の策定をしていただければありがたいなというふうに考えます。</p> <p>また、市全体においてはその部分についても、提案していただければというふうに認識しておりますので、環境と一体になった取り組みをぜひ進めていただければありがたいなというふうに思いますのでよろしくお願いします。</p>
事務局	<p>農作物等につきましては農林水産部門の会議等に参加させていただいておりますので、なお連携ということで進めます。</p>
(3) 鶴岡市地球温暖化対策実行計画の見直しについて 事務局	<p>説明（内容は、資料のとおり）</p>
委員	<p>平成30年の第3次鶴岡市の地球温暖化対策実行計画の中を見ると、アンケートが書いてあって、「実際どういう取り組みをすると何%削減するかが分かると、もっと理解しやすいし協力してみようかな」という意見もあったように記憶しています。新しい実行計画については、市民等がこういう努力をするこ</p>

	<p>とによって何%削減できるなど、市民に事細かく知らせられるように SNS 等を活用して発信する等、細やかな実施状況について市民にお知らせするということが大事なのかなと思いました。</p> <p>質問ではなくて、コメントです。</p> <p>事務局 前回の平成 30 年の計画策定時におきまして、確かにどういうふうにしたら目に見えるという、そういうアンケート回答もありましたので、市民の方が取り組みやすいような方法ということも含めながら、次期計画を策定していければと思っております。</p> <p>特に、今はエネルギー代金高騰ということがあって、市民の方も関心が高まっております。昨年度に改定・策定いたしました第 2 次鶴岡市環境基本計画の中でも、市民、事業者、市、総ぐるみで、取り組んでいかなければならないということを考えておりますので、ご意見を取り入れさせていただきながら、策定してまいります。</p>
委員	<p>令和 4 年度の事業概要資料の 13 ページ、循環型社会の構築での (2) はごみ焼却施設でのプラスチック等の年間焼却量ですが、分別の考え方で水洗い水切りの徹底について情報発信していくというふうなことが出されていたのですが、私のイメージだと 1 割どころじゃなくて、かなり袋に入れて捨てられているのだろうと考えます。</p> <p>それは鶴岡市のごみの出し方であれば当然のことで、普通だなと思います。</p> <p>容器でも包装紙でもない、30 センチ未満とすれば、みんな茶色の袋に入れていくことになります。</p> <p>今後の見通しとして、プラスチックごみについて、茶色の袋に入れているものをさらに分別するという予定がありますか。</p>
事務局	<p>現在、茶色の袋に入れている「プラスチックごみ」についてですが、国からは、今後の方向性としてプラスチックのマークついている以外のものをさらにプラスチックごみとして集めるという考え方が示されています。本市としては様々な方向から検討を重ねているところです。</p>
委員	<p>ごみの分別の認識については、非常に私も大事だと思う。</p> <p>子供たちから特に理解をしていただいて、それを親も一緒に考える。</p> <p>その視点が私は大事だと考えます。</p> <p>従って、市民への周知の徹底が必要であり、小さいことから大きな目標に向かってみんなで理解をして実行するということが大事だと感じています。</p> <p>それを計画策定の中で、ぜひ検討していただきたい。</p>
事務局	<p>ほとんどの市内の小学校 4 年生については、ごみ処理施設等見学をする形に</p>

	<p>なっておりますけれども、考え方としては、やはり子供の頃からごみ問題を考えていただく。そして、それを親に伝えていただいて、家庭の中でも取り組んでいただくという考えがありますので、ご発言のようなことも取り入れさせていただきたいと思います。</p>
(4)その他	<p>説明（内容は、資料のとおり）</p> <p>【仮称 JRE 加茂風力発電事業中心申し入れについて】</p> <p>【ラムサール登録湿地近傍での風力発電事業の問題点】</p>
委員	<p>鶴岡商工会議所、酒田商工会議所は、再生エネルギー脱炭素推進の連携を図ることとしています。</p> <p>酒田は洋上風力、鶴岡は陸上を推進するとしています。鶴岡市は酒田みたいに黒松林の長いような延伸できる場所が無いことから、どうしても山間部に設置しなければなりません。</p> <p>今、事務局からのご説明内容は、昨年8月環境保護団体等の皆さんから、市長に陳情があつてからの後付けで作成しているものです。</p> <p>2年前、このような事業をやるという時は、市のガイドラインの基準によりでスタートしています。</p> <p>今回の加茂については、例えば風車のマスト位置の変更のような協議もないままに市長が1月31日、急遽中止としています。</p> <p>賛成派、加茂、大山地区、矢引地区、上郷地区など本事業に賛成する市民もいれば、反対する自然保護団体もあり、両方の意見が錯綜している中で、市長は環境保護団体の意見を聞き急遽中止としました。</p> <p>もし、今後鶴岡市がガイドラインを変え、ラムサールより5キロ以内は禁止とする改正をしたとしても、加茂の風力発電は、以前のガイドラインの基準で事業が進められていることから、急な変更が出来ません。</p> <p>また、5キロに変更した場合、風況調査等で風のいい場所が他にこの平場の無い海岸沿いにあるのか疑問です。</p> <p>鶴岡市も再生エネルギー推進としておりますけれども、このような規制があると再生エネルギーの進捗が進まないと考えますので、商工会議所としまして、本事業については推進ということを事務局の方にご提案します。</p>
委員	<p>関連での意見です。本事業での問題点であるラムサール条約湿地というものの価値をよく理解いただいていないのではないかと思います。</p> <p>それから、風車の影響で問題視されることとして。風車のブレードに高館山からの強いテレビの電波が反射したら、地元の加茂の方々がテレビが見えなくなると思います。鶴岡市は、添川の向こうが庄内町ですけれども地元の数軒の家で、もうテレビが見られないというような状態と聞いていますので、そういうことも、一つ頭に置いていただきたいと思います。</p>

	<p>それから、加茂の風車建設場所ですが、鶴岡は洋上にはまず無理ということですが、国道、県道がいっぱいあります。これらを使って風力発電ができれば、維持管理も簡単ですし、それから土地も県の土地でありますので、それをうまく活用できれば、一挙にほとんど解決すると思います。</p> <p>ただ、低周波の問題については、調べてみてもクリアできるということは今のところないようですけども、かなり研究されておりますことから、その検討もされた方が良くと思います。</p> <p>そうでないと、鶴岡では、本当にもう山の上の方に計画するしかないということになります。たらのきだいの奥の現場まで私も見てきますけども、西風が入るようですが、ちょっと予定地が奥の方でした。ここは風が逆に当たりにくいということになっておりまして、おそらくあそこはできないと思います。</p> <p>それから三瀬の場合も、現地を私も環境調査として回りましたけれども、クマタカがいることはお話してきました。三瀬のスキー場の方が狩場になっていて多くのクマタカが生息していることから、遠慮してくれと話をした。そこは、風車が2機だけ奥の方に設置されています。</p> <p>ところが、バードストライク(可能性がある事例)があった。私の方で現地調査内容をまとめたものです。そこは、もういずれにしても稼働しておりますことから、注意の必要性について、関係者から事業者伝えてはいますが、それを事業者が守れるかどうかですね、</p> <p>問題が生じた場合は、事業を中止するという事になっておりますが、事業費を拠出してから、それが中止ということになると問題がある。</p> <p>環境省の方でもいろいろガイドライン的なものを出してはいますが、なかなか難しい問題で、今回は市町村の英断で決められたのは非常に良かったと思っています。これは、私の考え方でありまして、お答えを頂かなくて結構です。</p>
事務局	<p>ただいまの加茂風力発電につきましては、環境アセスも進んでおりませんので、事業者より書類が出された際には、正式にこの環境審議会でご審議いただければと考えているところです。</p> <p>1点、委員にお伺いしたいのですけれども、国道とか県道に風車を建てるという話は、イオン三川にあるようなイメージの小規模なもののことですか。</p>
委員	<p>出力の大きい風車は無理だと思いますので、庄内町でまず、最初建てた風車は大規模で、あれは農道の脇に建設しており、加茂で計画されている風車と同等の大きいものですが、提案したものは小規模なものです。</p>
委員	<p>国道や県道にマストを建てる案についてですが、イオン三川に建設されているのはテナントで使用する電気の程度で、皆さんの家庭に通電するような出力のものではありません。</p>



<p>市民部長</p>	<p>それから、現場での風況調査前に、パソコンでどの地域が風車建設に適しているのか確認することが出来ます。小型の風車を建設しても、皆様の家庭に、1万世帯とかそういう規模で、その恩恵を与えることはできないと考えます。</p> <p>あと、三瀬でも、クマタカが2組いるということは最初から把握しており、一つはマストの建設位置を移動しておりますが、限られた山間地に覆われた庄内でありますことから、どうしても山の上であるのは致し方ないという判断をしております。</p> <p>ただいま、加茂風力発電の問題で、様々な意見を頂戴いたしました。</p> <p>市といたしましても、冒頭、いろいろ今日議題になっておりました温暖化計画の見直しですとか、それからゼロカーボンを宣言ということもございまして、これは市民、事業者、行政、総ぐるみで、創エネ、省エネ、それから自然でのCO2の吸収等ですね、森林での吸収など、様々な観点から、鶴岡市が一体どうなっているのか、今後どういうふうに取り組んでいくべきかということは真剣に考えていかなければならないと思っております。</p> <p>その中で再生可能エネルギーというのは、皆さんも、これはやっぱり必要だという理解だと思いますが、風力発電に関しては、日本全国いろんなところで、様々な問題が生じていますように、生活環境、自然環境、そして歴史や文化、そしてまた景観といった問題で、いろんな議論が生じていると承知しています。</p> <p>従って、その調和をどう図ればいいのか。そして住民、市民がそれを納得して理解いただけるのかどうかというところが重要でありまして、これがまた非常に難しいというところだと思います。</p> <p>この度の事案についても、賛成の方もいらっしゃれば、反対の方もいらっしゃいます。ただ、先ほど環境課長の方から資料をもって説明させていただきましたとおり、この場所については国際条約である大山上池下池のラムサール条約登録湿地に近傍している。そしてまた、加茂山は隣接しているところですけども、種の保存法、それから、絶滅危惧種になっていきますクマタカをはじめ、希少な猛禽類等がやはり多く生息しているという状況がございます。</p> <p>そういったところを調べる中で、その重要性を市としては、様々な方面から助言等をいただきながら、最終的に市として予防的措置というような観点で、中止を申し上げたというような経緯でございます。</p> <p>その辺もご理解をいただきながら、今後議論も色々あろうかと思いますが、どうぞよろしくお願いをしたいというものでございます。</p> <p>本日は、結論は出ないかと思っておりますのでよろしくお願います。</p>
-------------	---

<p>(4) その他</p> <p>会長</p>	<p>その他について他に皆様からありますでしょうか。</p> <p>(なし)</p> <p>これで、4の議事を終了いたします。</p>
<p>【5. その他】</p> <p>環境課長</p>	<p>会長、長時間の進行ありがとうございました。</p> <p>ほかになれば、これをもちまして、令和5年度第1回鶴岡市環境審議会を終了させていただきます。本日はご審議どうもありがとうございました。</p>